

ハーバード大学と横浜の大学生が大倉山記念館に集い交流！ ～次代を担う日米学生の交流プロジェクトがスタート～

7月6日（土）、「第一回大倉山国際学生フォーラム横浜」を開催します。ハーバード大学と横浜市立大学をはじめとした市内3大学の学生が大倉山記念館に集まり、日本文化体験を通じて相互理解を深めます。開港以来、日米交流の舞台として歴史を歩む横浜で、次代を担う学生の交流プロジェクトが新たにスタートします。

【 第一回大倉山国際学生フォーラム横浜 】

- (1) 日時：平成25年7月6日（土）13～18時
- (2) 場所：大倉山記念館（港北区大倉山2-10-1 東急東横線「大倉山駅」徒歩7分）
- (3) 主催：大倉陽子プロジェクトチーム、ハーバード大学ライシャワー日本研究所
- (4) 後援：米国大使館、横浜日米協会、横浜市
- (5) 概要：ハーバード大学の学生30名と市内の学生30名（横浜市立大学、慶応義塾大学、東京工業大学）が、大樋年雄氏プロデュースのもと、アートワークや茶道体験を通じて交流します（言語：英語のみ）。

※取材：当日会場にお越し下さい（公共交通機関をご利用下さい）。



◇大倉山記念館

実業家の大倉邦彦氏が、昭和7年に「大倉精神文化研究所」本館として創建。「東西文化の融合」という大倉氏の理想を踏まえた独特の様式美を持つ建造物。横浜市指定有形文化財。

◇大倉陽子プロジェクトチーム

大倉邦彦氏の孫、大倉陽子氏を中心に、国際学生交流を通じた日本の国際化促進を目的に、横浜日米協会の西田義博会長などの協力のもと、今回のプロジェクトを結成。

◇ハーバード大学ライシャワー日本研究所

1973年設立。ハーバード大で活動していたエドウィン・ライシャワー元駐日大使の名前を冠した研究所で、同大を中心に世界で日本研究促進の活動に取り組む。毎年日本にサマースクールの学生を派遣しているが、今年初めて日本文化をテーマに大倉山記念館でフォーラムを実施。テッド・ベスター所長。

◇大樋年雄 総合プロデューサー

「知日派リーダーを育てることは、日本の将来に大きな力となります。また、横浜の学生には、国際社会で活躍していくため、日本文化を改めて意識してほしいと思います。日本の茶道には、禅、工芸、書道などあらゆる芸術が内包され、今日まで続いてきました。同時に、今日の日本は現代アートの躍動も許容しています。およそ160年前にペリー提督が上陸し、日米和親条約が結ばれたこの横浜の大倉山記念館を会場に、日米の学生が交流を深めながら日本文化を知ることが、両国の将来にとって大きな意義があると思います」



《大樋年雄氏》

石川県金沢市出身。陶芸家・デザイナーで、ロチェスター工科大学客員教授、台南藝術大学客員教授、金沢大学客員教授などを務める。東京銀座加賀屋、トヨタショールーム、イタリア・ミラノサローネなどでの家具デザインプロデュースなど、国内外で活躍。

お問い合わせ先

(同フォーラムについて) : 大倉陽子プロジェクトチーム 福澤 英行 Tel 03-3712-5234
(横浜市の日米交流について) : 横浜市政策局国際政策課長 三枝 忠裕 Tel 045-671-2068